

公民共創アドバイザー

フリガナ 氏 名	ササキ コウキ 佐々木 晃樹
会社・組織名	株式会社クラウドシエン
所属部署	官公庁事業部
役職名	事業責任者

「令和 8 年度公民共創アドバイザー派遣事業実施要綱」第 2 条に定義される分野

☐ PPP / PFI ☐ 公共施設マネジメント ☒ 地域イノベーション連携 ☒ その他

事業主体名	事業名	事業概要
岡山県新庄村 (その他の 6 2 市町村)	ローカルハブを活用した企業マッチング / 官民連携推進に資するアドバイザー事業	ローカルハブを活用し ・民間企業の先駆的事業の紹介に関すること。 ・自治体が提示する地域課題にかかる相談、調整、提案 に関すること。 ・その他、民間活力導入促進に関すること。 の連携をし、協力を行なっています。具体には、 ・企業のマッチング ・所管部署との課題の相談 ・庁内に向けた官民連携に資する勉強会 ・2 ヶ月に 1 度の M T G ・定期レポートの提出 をメインで行っています。
長崎県庁（その他の 1 5 市区町村）	職員に向けた官民連携勉強会	官民連携の意識醸成をするための勉強会を他自治体職員を呼ぶ形での企画立案登壇まで行いました
福井県庁（その他の 3 市区町村）	職員に向けた官民連携推進ワークショップ	官民連携の意識醸成 / 課題抽出を行うための勉強会を他自治体職員を呼ぶ形でワークショップを行いました。
岡山県新庄村	機能性シャツを活用した、林業、高齢者の身体的負担軽減の実証	機能性シャツを活用し、林業、高齢者の身体的負担軽減の社会的実証事業を行いました。その後、地域事業者が代理店となり、地域経済を回すための施策も行っています。（※ 別の会社で携わった事業です。複数自治体で実証）
北海道苫小牧市	女性の健康促進に向けた包括連携協定	女性の健康や認識理解のための ・実証実験 ・登壇

		などを行うための事業を行いました。（※ 弊社支援の一環で行われた事業です。）
新潟県新潟市	LINE を 活 用 した、市民への広 報、子育て、防災 等の活用事業	市民への広報手段として、LINE を活用し、「子育て」「市報」「防災」の用途で、活用促進の支援を行いました。（※ 弊社支援の一環で行われた事業です。複数自治体で活用）
埼玉県戸田市	SDGs の 普 及 啓発に伴う、謎解 き事業の実施	エデュテインメントの考えを用い、市民への SDGs の普 及啓発として、 謎解きイベントの企画/運営を行いました。（※ 弊社支援の一環で行われた事業です。）
栃木県日光市	Smart Work Women Project	日光市の女性を対象として、デジタルスキルの習得やデ ジタルワークの経営訓練、インストラクターの養成など を推進することで、新たな就労や活躍の機会を創出する ことを目的としてはじまったプロジェクトです。（※ 弊 社支援の一環で行われた事業です。）
福島県福島市	子育て／教育分野 の情報発信により 地域の魅力向上事 業	地域の子育て／教育分野の情報を企業メディアで発信を することで、域内外に魅力発信をする事業として取り組 みが行われたプロジェクトです。（※ 弊社支援の一環で 行われた事業です。）
宮城県利府町	まんが体験ワーク ショップ	町内の小中学生を対象に、3つの時間帯に分けて、タブ レットを使った デジタルまんがの基本を楽しく体験で きるワークショップを行ったプロジェクトです。（※ 弊 社支援の一環で行われた事業です。）
香川県坂出市	地元高校生起業家 育成実証実験プロ グラム	高校生を対象に、地域の魅力を知り、自分を見つめ直し、 起業までを支援するプロジェクトです。（※ 弊社支援の 一環で行われた事業です。）
大阪府守口市	コンテナ授乳室に よる実証実験	屋外イベントにてコンテナ授乳室をおくことによる効果 検証／実証実験を行ったプロジェクトです。（※ 弊社支 援の一環で行われた事業です。）
神奈川県横須賀 市	官民共創オフライ ンイベントの実施	全国の企業、自治体が集まり、事業を行う上での現場を 知る／自治体の課題や制度を知るためのプレゼンを行う イベントの実施を行なった事業です。

経歴	大学卒業後、新卒採用領域のコンサルティング事業に従事し、100 社以上の企業支援を担当。その後、自治体連携の新規事業立ち上げを担い、LINE を活用した市報支援、商店街活性、起業家育成、移住・定住促進、コロナ対策事業など、幅広い地域施策に携わる。 現在は官民連携プラットフォーム「ローカルハブ」の開発・運営を担い、100 以上の自治体と連携しながら、自治体と企業双方にとって実行可能性の高い協働モデルの構築と、現場実装までを見据えた伴走型の官民連携支援を行っている。（日光市・新庄村では官民連携特命担当、大田区では公民連携アドバイザーとして参画） また、ワークショップや職員向け勉強会、自治体リバーズピッチの設計・運営、官民共創イベントの企画・プロデュースを手がける。あわせて、自治体予算と民間収益性の両立を図る持続可能な官民連携モデル「ローカルハブモデル」を開発し、実証から事業化・自走フェーズまでを見据えた段階的な連携設計を支援している。
得意とする事業分野 (具体的な内容を記入)	地域イノベーション連携／公民共創プラットフォーム関連／民間提案制度（ソフト面） 課題を持つ自治体と良いソリューションを持つ企業のマッチングを主に行なっているため、委託のみではない連携推進を双方の知見をもとに行なっている。
資格等	特になし
主な著書等	特になし
その他 特記事項	ローカルハブモデルとは、自治体と企業の連携を「単発の実証」や「紹介型マッチング」で終わらせず、【実証 → 評価 → 事業化 → 自走化】の段階設計によって、継続的かつ収益性のある官民連携へと育てていく実装型の連携モデルです。 自治体予算だけに依存せず、企業の事業性・投資・共創を組み合わせることで、地域課題の解決と民間の事業成長を両立する仕組みとして設計されています。